

2019年7月号

へそ按腹たより

へそ按腹普及会 日本事務局



7月

【ご挨拶】

梅雨真っ只中の7月を迎えました。今年は比較的気温は低めですが、気付かないうちに発汗していることが多くあります。特に高齢の方、虚弱タイプの方はダラダラと汗が出るため、脱水状態になりやすいものです。常時、水分補給を心掛けましょう。気付かない脱水が脳梗塞を引き起こす場合があるそうです。

水分と同時に、日頃から食事に気を付け、特に脂肪の取り過ぎ（脂肪の多い肉・揚げ物・マヨネーズやドレッシングも）は若い頃から控えて、血管を健康に保ちたいものです。野菜中心に変えましょう。按腹ポイントは心・脾です。肋骨周りを常に払い、水落のつまりを柔らかくしておきましょう。

【活動情報】

認定講座の報告

6月1・2日（土・日）認定講座を開催致しました。今回のテーマは「自律神経の失調」でした。2級セラピストを目指す方は初めての参加でしたが、韓国や北海道から1級セラピストを目指してお二人が参加されました。

お二人は実際に施術経験を積みながら、何回も臨床の勉強のため来院され、定例会にも参加されてきました。初めての方々も、施術に興味を持って多くを学んでこられた方達で、熱心に取り組みました。

講座の多くは臨床にあてられ、虚実の反応を如何に探し出すか、指をどう当てるか、患者さんの姿勢を変えながら鋭い指先の感覚を院長から直接指導されました。打鍼やへそ裏叩きも含め、30年の経験から生み出された秘技を伝授されました。

最後に1級、2級とも、認定試験を受け、結果は全員が優秀な成績で合格し、セラピストの認定書を授与することができました。

波動医療

脳外科の医師との打ち合わせで、波動という未知の概念から病いを診るという話題になりました。

人間の持つ精神性が身体に大きな影響を与える、病を通じ多くを悟った者が病を克服する、自分の傲慢さや独りよがりな気づき、如何に深く反省し、自分を見つめ直すか、それが健康の秘訣となるということです。波動の素になるのでしょうか？

確かな精神性を確立するには歴史観を持つ必要があります。縄文文明まで遡り、日本建国の理念、精神を取り戻すべき時が来たなど、話しが大変盛り上がりしました。医療はそこまで来ています。

仕上げの手技

仕上げの手技はへそ按腹の奥義です。邪の輪郭を把握しながら、皮膚表面まで絞って行く。あくまでも表面に痛みを感じる場所を重点に施術します。

仕上げの手技はできるだけ小さく摘まみ、皮膚表面の反応をみるのがポイントで、うまく摘まむには技術が必要です。大変重要な技術ですから、セラピスト以上のメンバーは日々練習し、技術を習得してください。上級講座ではこの技術を指導していきます。施術者として卓越した方を育成しますが、正式な指導員として講師の資格者も育成いたします。

初心者の方々は、お腹のお肉を大きく掴んだら、そのお肉をお腹の中に押し込むイメージで按腹してください。また呼吸法を取り入れ、息を吐きながらそのお肉を持ち上げるようにします。

YouTube 会員についてのお問い合わせ先

【へそ按腹普及会（すぎやま按腹鍼灸院内）】

電話：03-6206-2666

メール：heso.ampuku.hukyukai@gmail.com